

# 災害時対応マニュアル



**連合京都**

2008年6月

# 【目 次】

はじめに	1 P
<b>I 連合京都災害対応の基本</b>	
1. 全体の流れ	3 P
2. 大規模な広域災害発生時の緊急基本対応	4 P
3. 連合京都災害対策本部の役割	4 P
連合京都災害対策本部構成図	5 P
連合京都災害対策本部機構図	6 P
緊急時の連絡先一覧	7 P
産別・組織連絡先一覧	8 P
<b>II 緊急対応編（自分自身の基本的な対応）</b>	
1. 災害発生時の対応	9 P
2. 日頃からの心がけ	11 P
3. 京都府機関連絡先一覧	12 P
4. リース・レンタル業者連絡先一覧	15 P
<b>III 資料編</b>	
1. 京都府自主防災組織ハンドブック	16 P
2. 平成20年5月26日京都府防災会議 「京都府地震被害想定調査結果について」	39 P

## はじめに

今日、世界各地で地球温暖化の進行が主な起因とされる異常気象や巨大な災害が甚大な被害をもたらしている。直近の象徴的なものとして、本年4月のビルマにおける大型サイクロン、本年5月の中国四川省における大地震が挙げられ、未だその甚大な被害状況を詳細に把握することのできないほどの過去最大級の被害を惹起している。

一方、日本においても、1995年1月17日(火)午前5時46分に阪神・淡路地区を中心に発生した大地震では、6,434名の死者をはじめ、被害家屋24万棟など未曾有の被害となった。壊滅的な被害の中で、被災地には全国から延べ54,000人の連合の働く仲間が駆けつけ、救援・復興に向けたボランティア活動に大きく貢献し、社会的役割を担ってきた。

2007年3月25日には、能登半島沖の深さ11kmを震源とするマグニチュード(M)6.9の地震が発生。この地震により、北陸地方を中心に強い揺れが各地を襲い、石川県の七尾市、輪島市、穴水町で震度6強を記録し、死者1名、負傷者193名、住家全壊68棟、住家半壊164棟などの被害が生じる地震災害となった。

同年7月16日10時13分頃、新潟県上中越沖の深さ17kmを震源とするマグニチュード(M)6.8の地震が発生。この地震により、新潟県上中越地方及び長野県北部を中心に強い揺れが各地を襲い、新潟県の長岡市、柏崎市、刈羽村と長野県の飯綱町で震度6強を、新潟県の上越市、小千谷市と出雲崎町で震度6弱を記録した。死者11名、負傷者1,813名、住家全壊961棟、大規模半壊68棟、半壊770棟などの被害が生じる地震災害となった。

また、私たちが生活する京都府においても、平成16年10月20日から21日に上陸した台風第23号は、中北部の各地で総雨量が300mmを超えるなど、昭和28年の台風第13号以来の記録的な豪雨となり、これにより、15名もの尊い命が奪われ、負傷者202名、全・半壊・一部破損家屋3,505棟、浸水家屋7,102棟もの甚大な被害をもたらした。

連合京都は、この災害に対して、10月23日に連合京都事務所内に対策本部、舞鶴地協に現地対策本部を設置し、災害復興対策に取り組んだ。10月27日～31日の5日間において、連合近畿ブロックの支援を受け、述べ686名のボランティア活動を展開した。



情報が錯綜し、活動の連携がうまくとれない中で、現地説明を受ける仲間



泥まみれになって一般の家屋の復旧作業に貢献する仲間

連合京都は、第10回定期大会において、「労働を中心とした福祉型社会の実現」を掲げ、安心・安全・公正な社会の構築に向けて運動を展開することを確認した。その具現化に向けた取り組みの一つとして、地域に根ざした顔の見える連合運動の推進を運動の基調に据えている。

昨年、連合京都は、安全衛生対策の取り組みや議員フォーラムにおける政策制度の取り組みとして、特に「地震災害」をテーマに学習や調査活動を行ってきた。その学習・調査結果から、地域コミュニティが失われつつある現状の中で、連合の持つ組織ネットワークを機能させることによって、災害時における地域貢献に寄与することが、地域に根ざした運動すなわち労働運動の社会的役割として、広く認知される早道ではないかと考えている。

この度、こうした考えに立ち、連合京都の構成組織をはじめとする多くの友好団体が安全確保を基本に、いち早く救援・復興活動に取りかかることのできる体制を確立するためにマニュアルを策定しました。

仮に災害が発生しても日時や規模により対応も異なり、マニュアルどおりに活動できるわけではありませんが、いざと言う時のために日頃からマニュアルを理解し、万が一に備えていただければ幸いと考えています。

安心・安全な暮らしのためには、「自助・公助・共助」を基本とするそれぞれの役割を果たすべく、連合京都はその社会的役割に今後も見直しを加えながらより実効性の高いものを組織の連携強化から作り上げていきます。

最後に、これまでの災害により尊い生命を失われた方々に対しまして、あらためて哀悼の意を表し、ご遺族の方々に対しまして衷心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

「災害は時も場所も人も選びません」

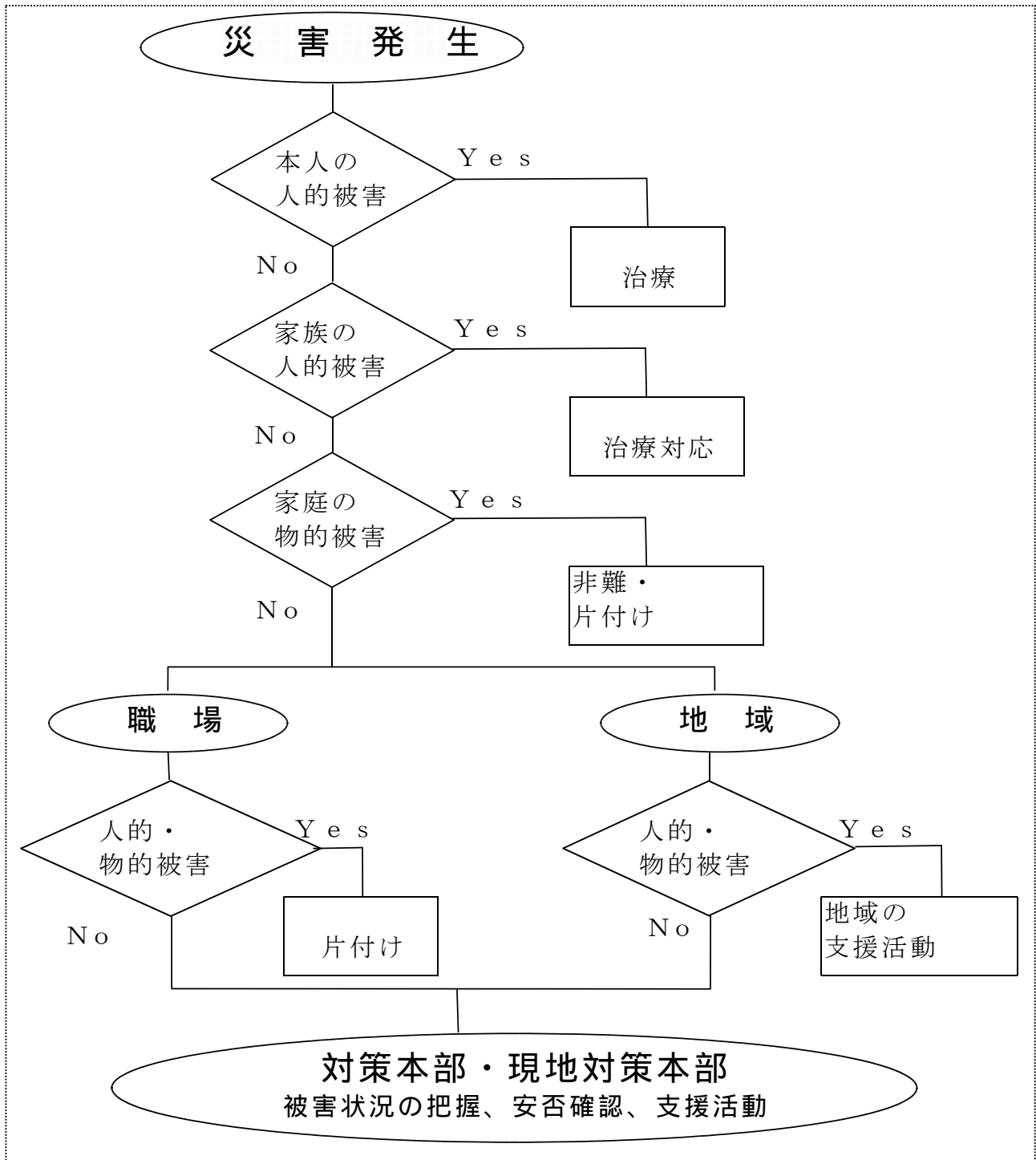
2008年6月

連合京都会長	木村 幹雄
組織対策委員長	上林 周司
組織対策副委員長	中川 義之

# I 連合京都災害対応の基本

連合京都は、組合員・家族の生命、財産などを守るだけでなく、労働運動の社会的使命として、防災・緊急対応に取り組みます。また、被災時の救援・復興活動には最大限の努力を行います。

## 1. 全体の流れ



## 2. 大規模な広域災害発生時の緊急基本対応

### (1) 災害対策本部の設置

大規模災害により緊急救援活動が発生した時、もしくは発生が予想される時は、直ちに連合京都事務局に「連合京都災害対策本部」を設置し、緊急救援活動を開始することとします。

連合京都事務局が被災、もしくは被災予想される時は、専従配置地域協議会などに設置します。

\* 大規模災害とは・・・以下の①～⑥が発生し、甚大な被害があった時

(または、発生が予想され、甚大な被害が想定される時)

① 震度5以上の地震 ② 火山の噴火 ③ 台風や大雨

④ 火災・事故 ⑤ 広域な疾病

⑥ その他緊急対応が生じた時

\* 緊急救援活動とは・・・仲間の安否や被害状況を把握し、労働組合の主体性を発揮する中で、被災者からの要望や要請に対する支援（行政支援以外もしくは、行政との連携により）を行う。

### (2) 災害対策本部の機能

連合京都災害対策本部の本部長は、連合京都会長が担うこととします。また、統括は連合京都事務局長とし、明確な責任体制や班構成・担務を確立し、迅速な緊急救援活動にあたることとします。

### (3) 連携した活動の展開

「連合京都災害対策本部」のもと、構成組織や地域協議会は連携し、救援や復興に向けた活動に取り組むこととします。

## 3. 連合京都災害対策本部の役割

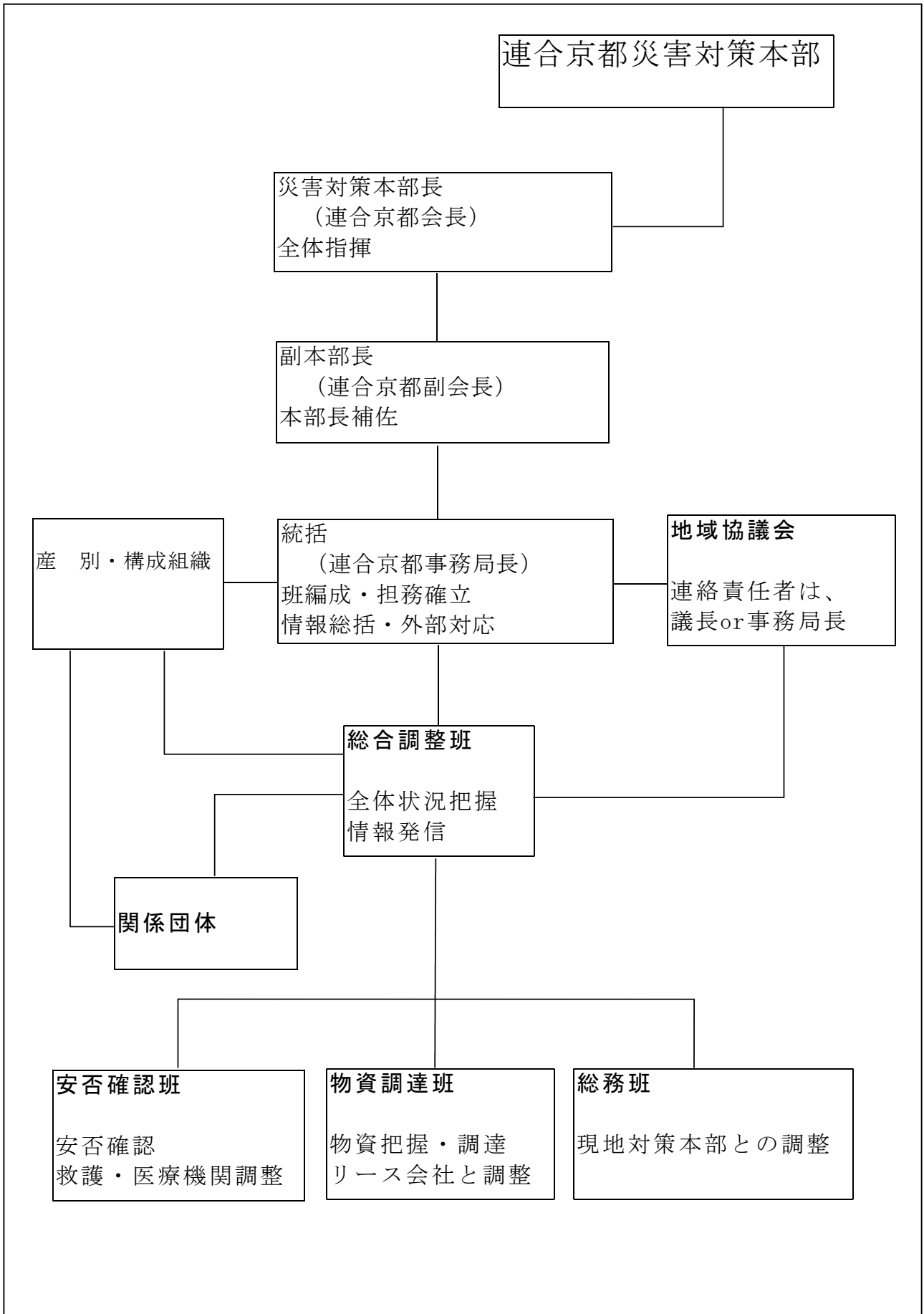
### (1) 連合京都災害対策本部の業務

- ① 迅速且つ詳細な災害情報の一元的収集ならびに伝達
- ② 被災地からの情報収集や支援要請への迅速な対応
- ③ 構成組織・地域協議会ならびに連合本部など関係団体への救援活動の要請
- ④ 物資の調達や支援協力者の呼びかけならびに集約

### (2) 連合京都災害対策本部の業務分担

総合調整班	・全体状況把握、連絡・調整、情報発信等 ・被災地への組合員・ボランティアの派遣計画
安否確認班	・産別や構成組織、関係団体と連携した安否確認 ・救護・医療機関との連絡調整
物資調達班	・生活必要品の把握と物資の調達 ・リース会社との調整
総務・連絡班	・現地対策本部との調整

(3) 連合京都災害対策本部構成図

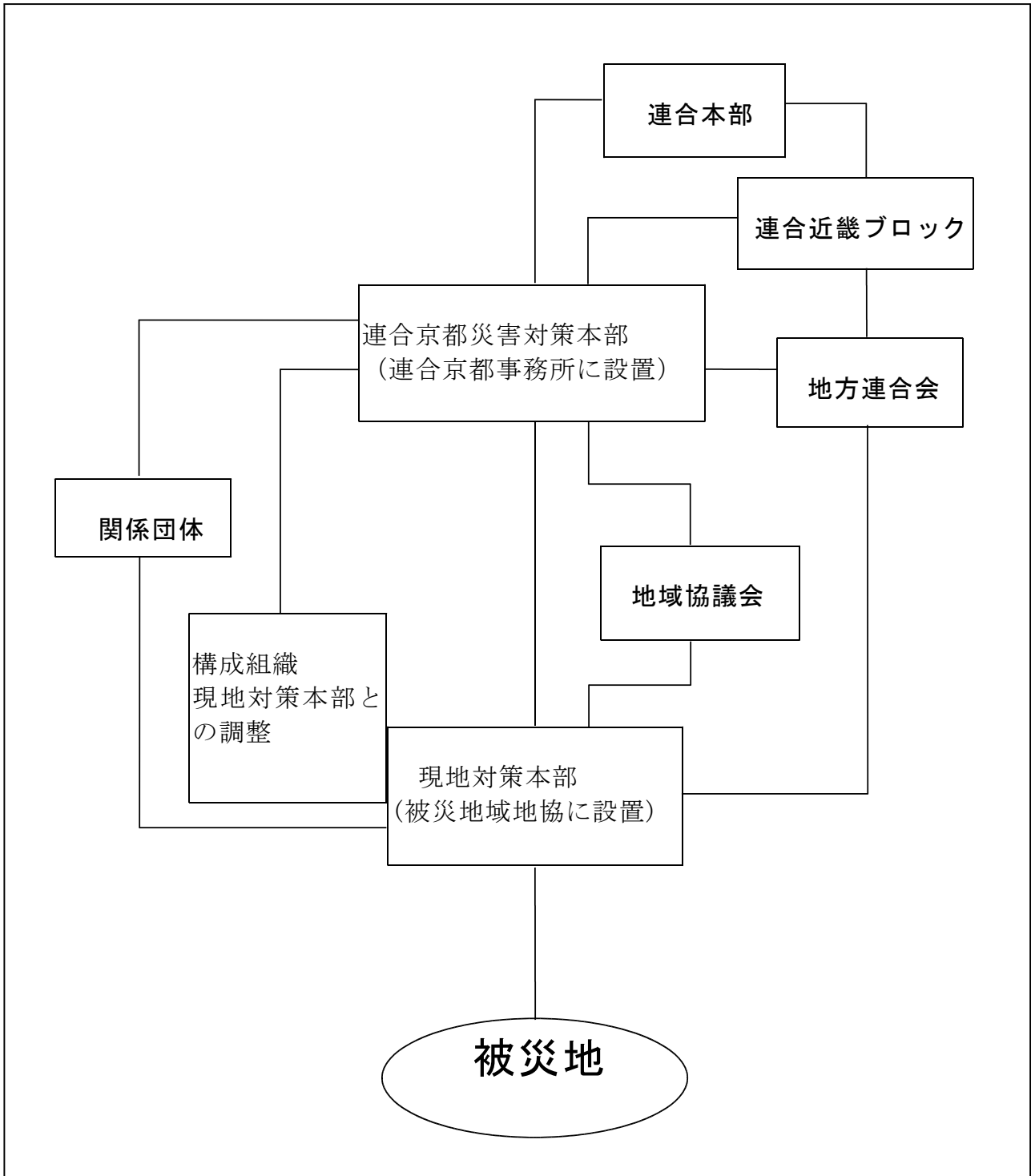


#### (4) 被災及び緊急対応発生時の対応

大規模災害の発生直後、被災当該地の地域協議会は、以下の報告をできる限り速やかに連合京都に行くこと。また、連絡責任者については、議長もしくは事務局長とします。連合京都は、把握した状況を連合本部に報告します。

- ① 役・職員の安否
- ② 被災状況（地域や事務所など）
- ③ 連合京都・連合本部への救援要請

#### (5) 連合京都対策本部の機構図

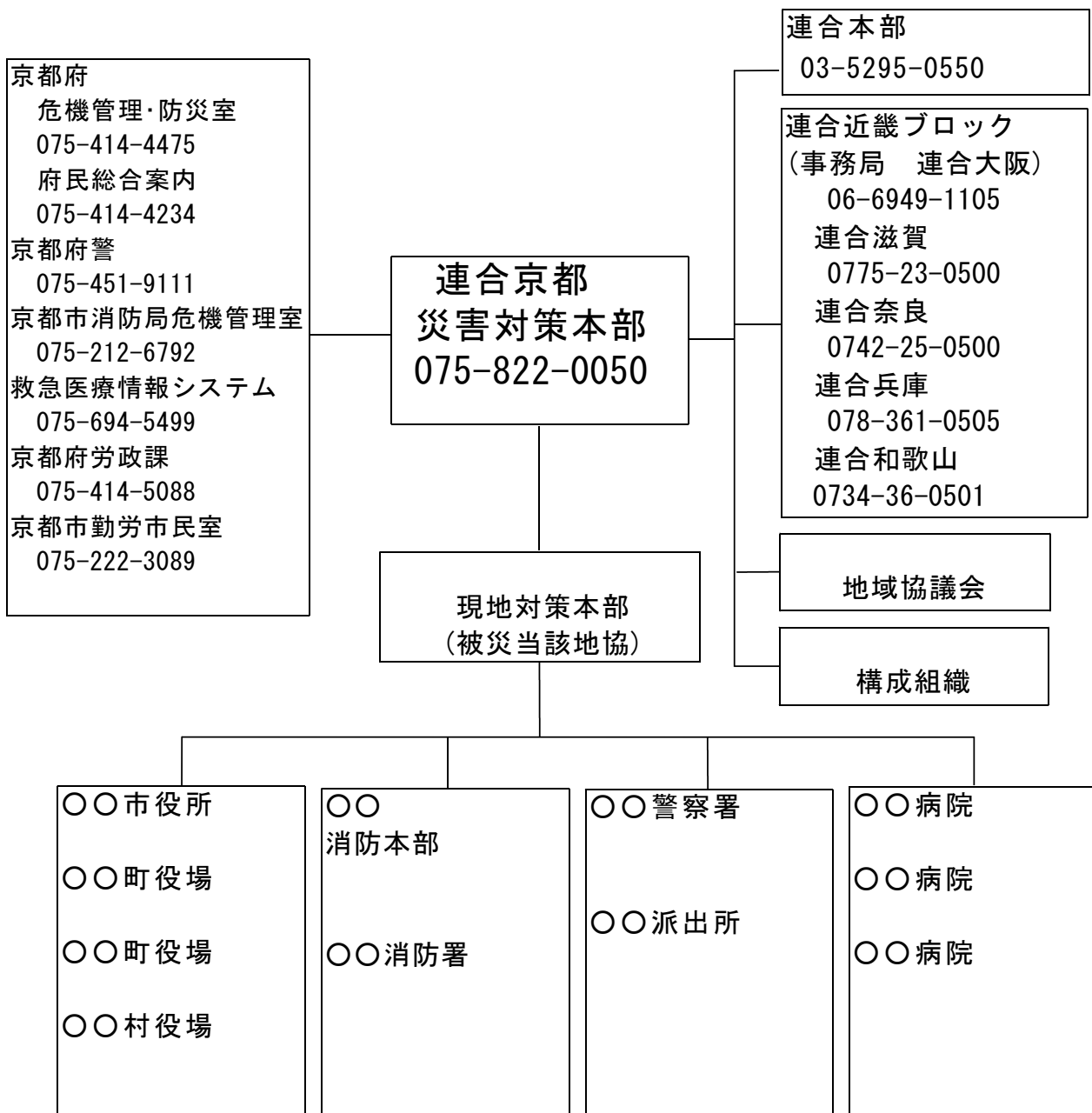


## (6) 現地対策本部の設置

被災地域の当該地域協議会に「現地対策本部」を必要に応じて設置し、情報収集と救援活動にあたります。

- ① 被災地の拠点として、安否確認や被災状況の収集活動を行う。  
(当該地域の被災が甚大で、当該地域協議会が機能しない場合、または被災状況に応じて連合京都事務局を現地対策本部に派遣します。)
- ② 被災者の支援要望を把握するとともに連合京都が担う救援活動の範囲や規模を行政や地域と調整します。
- ③ ボランティアなど救援活動協力者の把握と活動の指示を行います。
- ④ 支援物資の要望を把握するとともに一次預かり所を確保します。
- ⑤ 地元自治体や関係団体との連携や調整を行います。

## (7) 緊急時の連絡先一覧



## (8) 産別・地域協議会連絡先

(2008年4月1日現在)

産 別	電 話	F A X	代 表 者	事 務 局
UIゼンセン同盟	075(801)4091	075(801)4092	佐藤 昌一	池内 正博
自動車総連	075(956)1166	075(956)1177	岸本 満	赤坂 賢志
電機連合	075(801)8003	075(801)8015	唐木 盛裕	廣岡 和晃
JAM京滋	075(841)8251	075(811)8220	藤川 慎一	伊藤 純夫
自治労	075(252)5932	075(231)4918	橋元 信一	谷口富士夫
J P 労組	075(255)1124	075(253)2016	谷岡 幸夫	外賀 芳則
情報労連	075(212)6200	075(212)3600	上林 周司	木村 義弘
電力総連	075(361)6959	075(344)7572	安宅 義人	岡本 義則
私鉄総連	075(611)4194	075(611)4195	中川 義之	宮城 勝夫
J R 連合	075(342)0850	075(342)0851	坪井 茂樹	川端 準一
都市交	075(841)0948	075(811)3536	瀬戸 高志	中谷 文明
J E C 連合	075(561)1112	075(561)0693	宇野 朋典	大石 克彦
フード連合	075(623)2280	075(622)7920	横山 雅人	原口 修一
化学総連	075(551)1787	075(541)4981	守口 英児	
サービス連合	06(6459)3110	06(6459)3150	小仲 一彦	嶺井 一也
全水道	075(672)7798	075(671)0048	松田 國広	河村 勝治
運輸労連	075(231)2707	075(211)8860	田辺 隆裕	穂山 裕次
J S D 連合	075(252)7258	075(252)7284	岡 憲史	塩貝 裕
基幹労連	0773(62)2231	0773(62)7215	角谷 正司	土本 健市
国税労組	06(6941)6084	06(6941)7402	大田 信二	百武 文博
国公総連	075(414)1393	075(417)2037	岡森 義輝	辻 豊
印刷労連	075(921)2144	075(934)8768	北村 正一	
紙パ連合	075(951)1647	075(951)1240	滋賀 尚志	
政労連	075(951)7391	075(951)7393	平松 重巳	河合 秀樹
交通労連	075(801)3485	075(801)3470	中野 善尊	久世 法夫
全自交労連	075(861)3022	075(861)3042	塚本 新二	江夏 進
全国一般	075(802)0585	075(812)0206	福永 孝史	
全電線	0774(46)7886	0774(48)2859	竹中 恒久	
ゴム連合	0773(48)0001	0773(48)0343	大志万真悟	
日教組	075(252)6771	075(252)6772	今井 哲	安藤るりこ
NHK 労連	075(841)4321	075(812)3430	橋本 勝	服部 敦
J R 総連	075(811)7993	075(811)7993	栗野 洋三	武政 秀樹
労済労連	075(812)7800	075(812)7880	田中 和豊	奥 敦
森林労連	075(414)9831	075(431)2278	林 和男	松本 恵介
日写労組	075(801)3985	075(801)3995	奥井 民博	内海 修司
民間医労連	075(811)5672	075(811)5672	岡村 幸子	畑中 和子

地域協議会	電 話	F A X	議 長	事務局長
た ん ご	0772(46)4208	0772(46)4208	清水 昌彦	井上 博敏
舞 鶴	0773(63)5428	0773(64)5428	岡安 昇	藤原 達雄
福 知 山	0773(24)0500	0773(23)3792	藤田 清志	芦田 真弘
綾 部	0773(42)7781	0773(42)2764	田中 幾夫	垣尾 顕
亀 岡	0771(25)4527	0771(25)4527	俣野 健二	石野 修弘
乙 訓	075(956)9597	075(956)1285	櫛田 力蔵	大西 芳秀
南 山 城	0774(28)6780	0774(28)6790	早瀬 茂	朝田 隆

洛北	050(7515)4662	075(255)3841	高橋 直樹	渡辺 登
洛南	075(691)1234	075(671)0048	横田 佳宏	角村 国春
洛東	075(781)6084	075(781)6084	宮崎 真	坂堂 剛
洛西	075(864)8129	075(882)6885	山本 敏明	廣瀬 真一
伏見	075(623)2280	075(622)7920	宮城 勝夫	原口 修一

## II 緊急対応編 (自分自身の基本的な対応)

ここでは、自分や家族が災害時にどのように対応するべきか、また、日頃から災害時に備えての心がけや準備しておくことを記載しました。

### 1. 災害発生時の対応

災害発生時の想定パターンを以下の項目で整理しました。

#### (1) 地震

##### **第1条** まず身の安全と出口の確保

素早く机やテーブルの下、落下物や転倒物を避けられる所に入り身を守って下さい。また、出口の確保(扉を開ける)など避難通路の確保も大切になります。

##### **第2条** 火の始末

落ち着いたら、火を消してください。初期消火のチャンスは3回です。①地震の揺れ始め、②揺れがおさまった時、③出火直後です。①の時は無理をせずに安全確保を優先します。

##### **第3条** あわてて外に飛び出さない

むやみに屋外に飛び出さないでください。ガラスや看板、塀など落下物や倒壊物の危険もあります。

##### **第4条** 危険な物から身を避ける

ブロック塀や門などに近寄らない。頭はヘルメットやカバンなどで保護してください。スーパーでは、買い物かごをかぶるのも有効です。垂れ下がった電線には絶対に触れないでください。

##### **第5条** 指示に従う

京都府や市町村、企業、ホテルなどにはそれぞれの防災対策があります。避難指示などに従って行動してください。

##### **第6条** 速やかに徒歩で移動

速やかに徒歩で避難場所に移動してください。また、日頃から家族と避難場所を話し合っておきましょう。

##### **第7条** デマに注意を 正しい情報で行動すること

災害が起こると、心理的な動揺からデマなどが発生します。憶測まじりの情報を鵜呑みにせず、むやみに他人に伝えないこと。携帯ラジオなどで正しい情報を把握してください。

##### **第8条** 安否の連絡を

落ち着いた段階で、家族や職場などに連絡をとりましょう。

## (2) 台 風・大 雨

### 第1条 最新の情報の収集

テレビやラジオ、気象台情報などにより、常に最新の情報を収集してください。

### 第2条 雨量の目安

雨量の目安は、1時間に20mm、降り始めから100 mm程度です。注意を払ってください。  
また、地盤が軟弱な地域では、一層の注意が必要です。

### 第3条 早めの判断 低い地域で水害が発生

水は低い所に集まります。周辺地域や自宅周辺の地形を考慮し、「避難所に行く」か「在宅のまま」かの判断を早めに行ってください。無駄足でも早めの避難ということもあります。

また、「早めの帰宅」か「帰宅困難」かの判断も早めに行う必要があるとともに外出時での地下歩道橋や地下店では大量の水が流れ込む可能性がありますので、十分な注意が必要となります。

### 第4条 危険な場所には近づかない

増水した河川や側溝などは、境界が見えにくくなり転落事故が起きやすくなります。むやみに近づかないようにしましょう。

### 第5条 飛来物・落下物に注意

台風は、強風が収まっても吹き返すことがあります。看板などの飛来物・落下物に注意が必要です。

## (3) 火 山

### 第1条 最新の情報の収集

テレビやラジオ、気象台情報などにより噴火の規模や最新情報を収集してください。

### 第2条 外には出ない

噴火により噴石や火山灰、火山ガスを伴うことも想定されます。絶対に外には出ないようにしましょう。やむを得ず外出するときは、ヘルメットや防災ずきんをかぶりましょう。また、ゴーグルやマスクで目や気管を火山灰から守りましょう。火山灰は、湿ると滑りやすくなります。

### 第3条 高台を歩く

火山ガスの臭いを感じたらできるだけ高台を歩き、くぼ地や沢など低地に入らないようにしましょう。濡れたタオルで口と鼻を覆いましょう。

### 第4条 車のワイパーは使わない

ワイパーを使うとフロントガラスが傷つき、見えなくなります。ハケなどで時々払い落としましょう。

### 第5条 市町村の指示に従う

市町村の指示に従い速やかに避難しましょう。特に火砕流や融雪型火山泥流は発生してから逃げるのは困難です。

## 2. 日頃からの心がけ

### (1) 家庭内での取り組み

#### ① 家庭内における危険防止

##### i. 家具類の転倒防止

家具や大型家庭電気製品などの転倒によって、下敷きになって死亡することもあり得るため、転倒防止に向けた対策を施すことが必要となります。

##### ii. 物の落下防止

家具の上などに重い物を置かないよう普段から心掛けましょう。また、置く場合は、落下防止対策を施すことが必要となります。

##### iii. ガラスの飛散防止

食器棚などガラスが割れ飛散しないよう、粘着テープや透明フィルムを貼りましょう。

##### iv. 火気器具周辺の整理整頓

コンロやストーブなどの火気を使用する物の周辺では、燃えやすい物を置かないよう心掛けましょう。また、灯油などの燃料は、缶に密閉して保管しましょう。

##### v. ブロック塀の転倒防止

ブロック塀や門柱などの倒壊により死亡者・負傷者がでないように補強しましょう。

#### ② 家庭内での話し合い（防災会議）

日頃から家庭全員で、災害発生時の話し合いをしておきましょう。

##### i. 地震が起きた時の各自の役割

##### ii. 消火器など消化用具の備え付け及び使用方法

##### iii. 家庭間の連絡方法やN T T災害用伝言ダイヤル1 7 1の活用

##### iv. 避難場所や安全な避難経路の確認（年寄りや乳幼児、病人などの災害弱者の避難方法）

##### v. 非常持ち出し品のチェック

##### vi. 家具転倒防止策や家庭内の整理整頓

##### vii. 災害情報の入手方法

#### ③ 災害に備えた準備品（最低限必要）

非常食	・ 3日分程度（火を通さなくても食べられるもの）
飲料水	・ 1.5リットルのペットボトル2本（1人1日分）
携帯ラジオ	・ AMとFM両方聞けるもの
救急薬品	・ 持病のある場合は常備薬も
懐中電灯	・ 予備電池も用意
その他	小銭、ドライシャンプー、ウェットティッシュ、ラップ、ろうそく（マッチ、ライター）、笛（ホイッスル）など

#### ④ 非常持ち出し品

貴重品	現金、権利証書、預貯金通帳、免許証、印鑑、健康保険証など
非常食品	乾パン、缶詰（缶切り）、飲料水など
応急医薬品	消毒薬、常備薬、胃腸薬、目薬、救急絆創膏、三角巾など
衣類	下着、上着、タオルなど
照明器具	懐中電灯（電池）、ろうそく（マッチ、ライター）など
携帯ラジオ	予備電池は多めに

## (2) 職場での取り組み

- ① 安全衛生委員会において日常的な防災意識の点検活動
  - i. 職場パトロールによるリスクの抽出
  - ii. 職場チェックシート活用による点検活動
  - iii. 危機管理体制（連絡体制）の構築

- ② 労働安全衛生マネジメントシステムの構築

## (3) 京都府機関連絡先

京都市 京都土木事務所：075-701-0101  
京都市：075-222-3111  
京都市消防局：075-231-5311  
京都市北消防署：075-491-4148  
京都市上京消防署：075-431-1371  
京都市左京消防署：075-723-0119  
京都市中京消防署：075-841-6333  
京都市東山消防署：075-541-0191  
京都市山科消防署：075-592-9755  
京都市下京消防署：075-361-4411  
京都市南消防署：075-681-0711  
京都市右京消防署：075-871-0119  
京都市西京消防署：075-392-6071  
京都市伏見消防署：075-641-5355

### 京都市外（地方振興局管内別）

山城広域振興局：0774-21-2101  
南丹広域振興局：0771-22-0422  
中丹広域振興局：0773-62-2500  
丹後広域振興局：0772-62-4301  
乙訓地域総務室：075-921-0183  
乙訓土木事務所：075-931-2155  
乙訓保健所：075-933-1151  
山城北土木事務所：0774-62-0047  
山城北保健所：0774-21-2191  
田辺地域総務室：0774-62-0173  
山城北土木事務所：0774-62-0047  
山城北保健所綴喜分室：0774-63-5745  
木津地域総務室：0774-72-0051  
山城南土木事務所：0774-72-1151  
山城南保健所：0774-72-4300  
南丹土木事務所：0771-62-0025  
南丹保健所：0771-62-4751  
美山出張所：0771-75-0119  
園部地域総務室：0771-62-0360  
綾部地域総務室：0773-42-0480

中丹東土木事務所：0773-42-1020  
中丹東保健所：0773-75-0805  
福知山地域総務室：0773-22-3901  
中丹西土木事務所：0773-22-5115  
中丹西保健所：0773-22-6381  
中丹東土木事務所：0773-42-1020  
中丹東保健所：0773-75-0805  
丹後保健所：0772-62-0361  
丹後土木事務所：0772-22-3244  
宮津地域総務室：0772-22-2700

市町村

長岡京市：075-951-2121  
向日市：075-931-1111  
大山崎町：075-953-6002  
宇治市：0774-22-3141  
城陽市：0774-52-1111  
久御山町：075-631-6111  
八幡市：075-983-1111  
京田辺市：0774-63-1122  
井手町：0774-82-2001  
宇治田原町：0774-88-2250  
木津川市：0774-72-0501  
加茂支所：0774-76-8500  
山城支所：0774-86-6600  
笠置町：0743-95-2301  
和東町：0774-78-3001  
南山城村：07439-3-0100  
精華町：0774-94-2004  
亀岡市：0771-25-5010  
南丹市：0771-68-0002  
京丹波町：0771-82-0200  
綾部市：0773-42-3280  
福知山市：0773-22-6111  
舞鶴市：0773-62-2300  
宮津市：0772-22-2121  
与謝野町役場：46-3001  
加悦庁舎：43-1511  
野田川庁舎：44-2081  
伊根町：0772-32-0501  
京丹後市：0772-69-0140

消防本部・消防署

乙訓消防組合消防本部(長岡京消防署)：075-952-0119  
長岡京消防署東分署：075-954-0119  
向日消防署：075-934-0119

大山崎消防署：075-956-0119  
宇治市消防本部：0774-39-9400  
宇治市中消防署：0774-22-0940  
宇治市西消防署：0774-39-9413  
宇治市東消防署：0774-39-9415  
槇島消防分署：0774-39-9417  
伊勢田消防分署：0774-39-9419  
城陽市消防本部・消防署：0774-54-0113  
青谷出張所：0774-54-0119  
久御山町消防本部・消防署：075-631-1515  
八幡市消防本部・消防署：075-981-4119  
京田辺市消防本部・消防署：0774-63-0119  
北部出張所：0774-65-0119  
井手分署：0774-82-3000  
宇治田原分署：0774-88-5500  
相楽中部消防組合消防本部（相楽中部消防署）：0774-72-2119  
山城出張所：0774-86-4334  
木津西出張所：0774-72-7119  
加茂出張所：0774-76-4119  
和東出張所：0774-78-3119  
相楽東部消防署：0743-95-2075  
精華町消防本部・消防署：0774-94-5119  
京都中部広域消防組合消防本部：0771-22-9580  
亀岡消防署・東分署：0771-22-0119 0771-23-0119  
園部出張所：0771-62-0119  
八木出張所：0771-42-0119  
日吉(仮)出張所：0771-72-0119  
丹波出張所：0771-82-0119  
綾部市消防本部・消防署：0773-42-0119  
上林分遣所：0773-54-0044  
福知山市消防本部：0773-24-0119  
福知山消防署：0773-22-0119  
福知山東分消防署：0773-27-0119  
福知山北分消防署：0773-33-0119  
舞鶴市消防本部：0773-22-0119  
舞鶴市東消防署：0773-65-0119  
舞鶴市中出張所：0773-64-0119  
舞鶴市西消防署：0773-77-0119  
宮津与謝消防組合消防本部（宮津与謝消防署）：0772-46-6119  
宮津分署：0772-22-0119  
加悦谷分署：0772-42-0119  
橋北分署：0772-32-0119  
京丹後市消防本部(峰山消防署)：0772-62-0119

網野分署：0772-72-0119  
久美浜分署：0772-82-0119  
竹野川分遣署：0772-75-0119

(4) リース・レンタル会社連絡先

アクティオ舞鶴営業所

〒 625 - 0007 京都府舞鶴市大波下字島田 9 4 9  
TEL 0773 - 63 - 1440 FAX 0773 - 63 - 7661

ニッケン

〒 612 - 8243 京都府京都市伏見区横大路下三栖城ノ前町 51  
TEL 075 - 622 - 7723 FAX 075 - 622 - 7725

コマツレンタル京都南店

〒 614 - 8183 京都府八幡市上津屋西久保 115  
TEL 075 - 982 - 2171 FAX 075 - 982 - 2182

ニシオレントオール

〒 601-8371 京都府京都市南区吉祥院嶋檜山町 1 5 番地  
TEL 075 - 691 - 0240 FAX 075 - 691 - 0118

京都レントオール

〒 602-8448 京都市上京区今出川智恵光院東北角  
TEL 075 - 432 - 0177 FAX 075 - 432 - 0180